

Council of Social Welfare

大 淀 町

えがおで介護
こころのネットワーク
あんしんサポート

社協だより

平成28年

3月号



～ふれあい活動センター活動の様子～



発行所／社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 大淀町下淵1223番地 TEL 0747-52-1941

社協だよりは、共同募金の配分金により作成しております

大淀町高齢者地域見守り協定事業がスタートします

地域の支え合い・たすけあいを目指して

○「地域見守り協定事業」とは

現在、大淀町の高齢化率は約28%を越えており、奈良県の高齢化率とほぼ同程度となっております。また、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯も多くなっております。地域での交流も少なくなってきたり、現状が見受けられます。

「住み慣れた地域で、共に支え合い、幸せに暮らせる福祉のまちづくり」を目指して、住民の皆様の手だけではなく、企業や事業者の力を借り、異変を感じた高齢者の見守り事業を推進していきます。

○「地域見守り協定」の

具体的な流れ

まず、企業や事業者が地域見守り協力事業所として登録をいただきます。

日常業務において、従業員などが高齢者宅などで異変を感じた場合は、各事業所・店舗の担

当者に対象者の情報及び気づいた内容について連絡します。

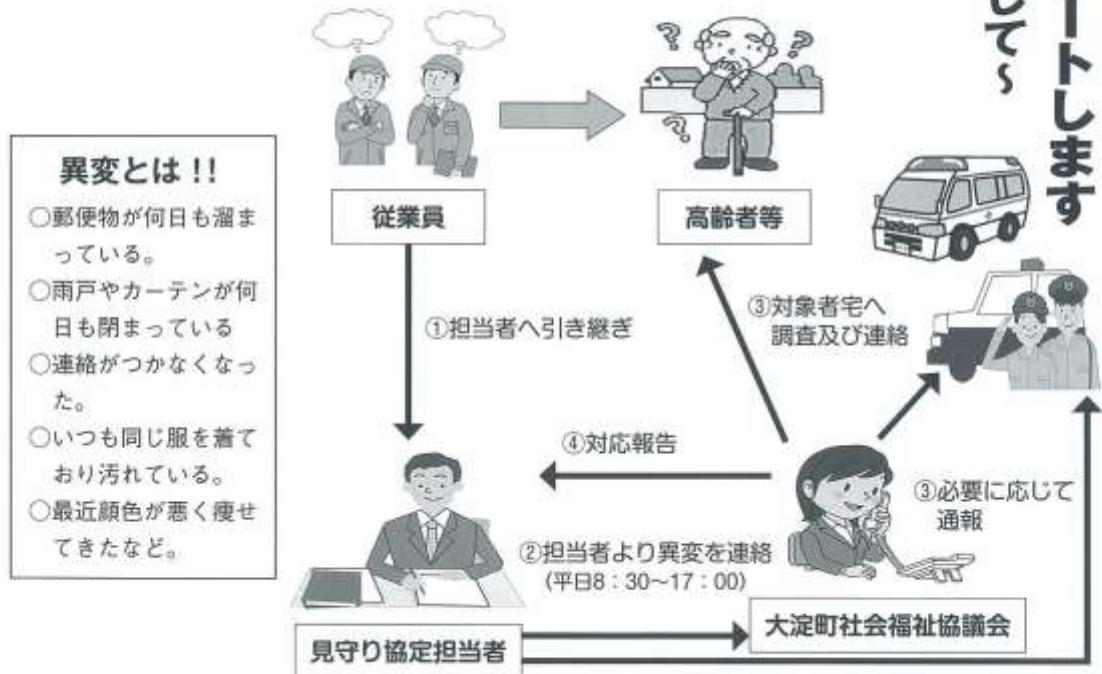
連絡があった関係機関は連携を図り、対象者宅への調査及び連絡などの対応を実施いたします。緊急対応が必要な場合は、救急車の要請を行います。また、併せて警察署にも連絡をいたします。

対応終了後に担当者へ対応内容について報告をいたします。企業などからの情報については承諾なしに、どこからの情報かを伝えることはありません。

大淀町社会福祉協議会は、高齢者地域見守り協定事業にご協力いただける企業・事業者を平成28年5月より募集します。ご理解・ご協力の程よろしくお願いたします。



《地域見守り協定ネットワーク図》



②緊急対応を要するときは直接消防・警察へ通報

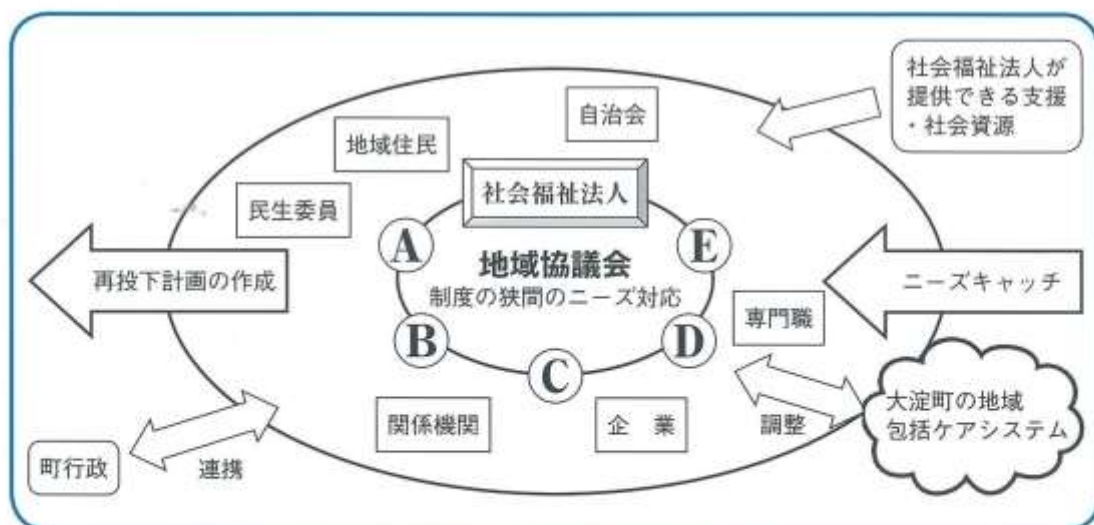
**元気な地域を目指して
町内の社会福祉法人が
連携します!!**

○地域づくり協議会とは○

平成28年4月より社会福祉法人制度改革が始まり、これまで以上に地域における公益的な取組が求められることとなりました。

違う分野の社会福祉法人が業務上において、また、地域において感じている福祉課題を持ち寄り課題解決に取り組むための協議会「大淀町元気な地域づくり推進協議会」を立ち上げました。大淀町内の社会福祉法人の「余剰財産」「人的資源」を出し合い元気な地域づくりに取り組んでいきます。

地域づくり協議会と、地域を支える関係機関や専門職が連携することにより、相乗効果が期待されます。特に制度の狭間にある福祉ニーズに対応できる取組を考えていきます。



4月よりふれあい活動センターが新しくなります!!

平成28年4月より、ふれあい活動センターのデイサービス及び各教室の日程が変更されます。手芸をしたり、カラオケをしたり、また、各教室で仲間と楽しい時間を過ごしませんか!?

～ふれあい活動センターデイサービス開催日～

- 毎週 火～金曜日(祝日を除く)
～ふれあい活動センター各教室開催日～
- 毎週 月曜日(祝日を除く)開催
カラオケ教室・パソコン教室・書道教室・元気教室
☆4月から、元気教室がスタートします。
「簡単な動作をしながら脳を鍛える」
～介護予防や認知症予防を目指します～
(例)・歩きながら、100から7を引いて行く
・踏み台の昇降をしながら、しりとりをやる。
・数をかぞえながら、3の倍数で手をたたく 等等

広報の折り込みチラシをご覧ください、是非ご参加下さい!



ご利用料金

- ふれあい活動センターデイサービス
1回 1,000円
 - 各教室利用料
1回 1,000円
- ※元気教室は無料です。
※デイサービス利用者は各教室無料です。



あんしん メール

～ 頼れる地域のサポーター～

認知症サポーター

サポーターの活動・役割について

みなさんこんにちは。今回は認知症サポーターについてご紹介させていただきます。

●認知症サポーターについて

特定非営利活動法人「地域ケア政策ネットワーク全国キャラバンメイ」ト連絡協議会」が実施する「認知症サポーターキャラバン事業」における認知症サポーター養成講座

座を受講・修了した者を称する名称です。現在、認知症サポーターは全国に約540万人(平成26年9月末現在)おり、地域において認知症の方が穏やかに生活するためにの見守りや環境整備に尽力されています。

認知症サポーターは、何かを特別にやっってもら

うものではありません。認知症を正しく理解してもらい、認知症の人や家族を温かく見守る応援者になってもらいます。その上で、自分のできる範囲で見守りや支援を行っていただきます。

例えば、友人や家族にその知識を伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努めるなどの活動をしてください。

●あんしんサポートでは「地域包括支援センター」「家族介護者教室」や「出前講座」などでもお話ししますので、お気軽にご相談下さい。



サポーターの証「オレンジリング」



蔵下 稔さん (大阿太区)

今回は「大淀町文化財調査会」の蔵下さんを紹介いたします。

蔵下さんは、大淀町内にまつわる緻密な歴史を大学や国立図書館に行き、書物や文献を通して、情報を集められています。また、古墳や神社などにも足を運ばれ、大淀町の歴史を復興させていく活動をされています。

大淀町の歴史への理解と愛着を持っていただくために、資料などにまとめられ、歴史の継承と活性化に力を注がれています。

匠のひと言

大淀町では前期高齢者率が約14.6%、後期高齢者率が14.2%と、高齢化が進みつつあります。私自身も傘寿の年になりましたが、文化財を通じて、先人の知恵を学んでいます。歴史に関する教養を、観光や芸術、文化、産業などさまざまな分野で、未来に活かすことができるお手伝いができればと日々精進しています。

最後に、「故事に習い、吉野の薬用植物を調べておいしい薬膳料理を創作し流行らせれば、大淀町の蘇生・復活につながる」と考えております。



各種登記のいとなじ(相談) 無料

なかで 中出司法書士事務所

大淀町土田一八四一九 ライフ・コーナン横 JA西部支店前
〒07747(五二)六五七七

あとがき

早いもので今年度も残りわずかになりました。

春の恵吹を感じつつある時期で、もう少しすると、新人生、新社会人とも、新たな生活が始まります。

自分が地域社会を担う一員であることを改めて見つめ直し、新しいことにチャレンジしていきたいです。

皆さんも、何か新しいことにチャレンジする準備期間として考えていきませんか？

(にし)